

2015年1月10日

プレゼントツリー支援者の皆様

認定 NPO 法人環境リレーションズ研究所
理事長 鈴木 敦子

Present Tree for AFRICA の植栽地、ブルキナファソ国の政権交代の影響について

謹啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より各別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、認定 NPO 法人環境リレーションズ研究所では、PresentTree for AFRICA の植栽地であるブルキナファソにおける昨年 11 月の政権交代に関わる情報収集に努めて参りましたが、この度、現地カウンターパートである株式会社ア・ダンセの森重氏より状況報告を頂きましたので、別添報告書をご査収いただきますようお願い申し上げます。

今後も現地との協働のもと、当該森林の保育管理に努めて参りますので、皆様の変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬 白



Present Tree for AFRICA をご支援下さっている皆様へ

皆様からの日頃のご支援に、ブルキナファソ国の女性に替わり、謹んで感謝申し上げます。

さて、11月上旬に報道されたブルキナファソのクーデターについて、その後の情報が殆ど流れていないことから、PresentTree for AFRICA を支援下さっている方々、および支援をご検討くださっている方々にはご心配をおかけしております。

今回は一部クーデターという報道が散見されましたが、クーデターではなく市民革命であり、軍部から市民社会に穏便に権力移譲が進み、世界の注目を集める出来事となりました。

【参考 NEWSWEEKS 日本版 WEB サイトより】

「ブルキナファソについて知るべき理由：西アフリカの小国の政変が世界の注目を集めるのはなぜか」

<http://www.newsweekjapan.jp/stories/world/2014/11/post-3450.php>

■ブルキナファソの革命はなぜ重要なのか

理由はいろいろある。これまでサハラ砂漠以南のアフリカ諸国には「アラブの春」の影響はまったく及んでいなかった。アフリカの指導者の多くは軍部の出身で、数十年に及ぶ長期支配を続けている。長老支配の政権と若年層が多数を占める国民の意識のギャップは広がる一方だ。そうした中で、市民のデモで政権が倒され、比較的平穏に政権交代が実現するのは画期的なこと——アフリカではほぼ前代未聞の快挙だ。

フランスやアメリカなどの大国に秘密裏に翻弄された歴史があると言われており、市民革命の他のアフリカ諸国への影響が大きいことから、来年11月に予定されている大統領選挙を終えて国が落ち着くまで予断は許しません。しかし、省庁の業務も変わらずしっかり行われており、これまでの推移を鑑みるに、大きな長期的混乱に結びつくことはないと期待されています。現地の様子も平穏そのもので、クリスマスは例年よりも盛り上がっているほどです。一般国民は27年間にわたって政治独裁・経済独占を行ってきた大統領一家がいなくなったことに、大きな希望を抱いており、気分はバラ色です。

元々、PresentTree さんにご支援いただくことになった背景には、ブルキナファソ政府（環境省）による森林再生への財政的・人的余裕が無いことが挙げられます。よって、本プロジェクトへの政府の関与もとても浅いもので、住民組織主体で推進していますので、本件による事業への影響は全く考えられません。シアバターの需要が世界的に高まっているのか、国内で原料が急騰しており、植林をした国有林を守る住民組織の女性たちの苗木を見る目が輝いています。今回の植林において、予定していたアグロフォレストリーは国の管轄下にある国有林内では、自由な農林業経営は難しく、シアバターの収穫向上までは長い時間がかかると思われますが、①女性たちの種子収集の負担軽減（植林地にはシアバターノキがかなり少ないので、増収も見込めます）、②観光地に近接しているので、エコツーリズムとしてのプログラム作りへの貢献、③接ぎ木や植林、苗木生産、種子増産の技術普及、などを期待することができます。



ブルキナファソでは農林産物がとても大切であることには変わりありません。より注目されているとい
ってよく、新政府では逆に、住民主体の森づくりなどの政策は以前より大切にされるかもしれません。ど
うぞご安心ください！！

今年には1500本の苗木を植林し、中には少数定着しなかったものもありますが、大多数が国有林の荒
廃地で根を下ろし始めています。接ぎ木がうまくいかなかった個体も、既に大きく育った苗でしたので、
今回は植林しました。植林まではうまくいったものの、接ぎ穂が枯死してしまったものもあり、双方あわ
せて、現地ですっかり定着した後に、再度接ぎ木をする予定です。また、まだ接ぎ木をするには小さすぎ
た苗は、2015年に成長の様子を見て接ぎ木し、雨季に植林する予定です。

支援者の皆様には、ご心配をおかけしますが、今後も現地住民組織との協働のもと、しっかり
PresentTree for AFRICAの森の保育管理に努めて参りますので、皆様の変わらぬご支援をお願い申し上げ
ます。

株式会社ア・ダンセ
代表 森重 裕子

